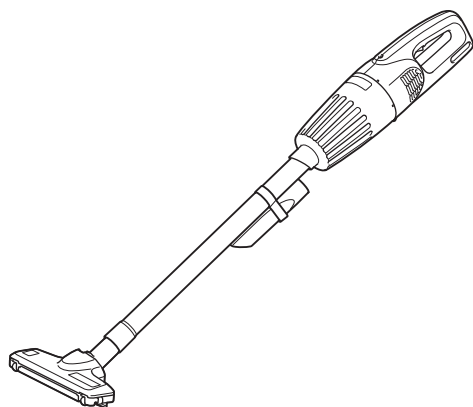




取扱説明書

充電式クリーナ

モデル **CL110D**
(充電器 DC1001 付)



このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いくださる
ようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称	13
・ 標準付属品	14
・ 別販売品のご紹介	15
・ 使い方	16
・ 充電の方法	16
・ スイッチの操作	17
・ バッテリ切れお知らせランプ	17
・ フロア・カーペットノズル	18
・ フロア・カーペットノズルのお手入れ	19
・ フロア・カーペットノズル＋ストレートパイプ	19
・ サッシ（すきま）用ノズル	20
・ サッシ（すきま）用ノズル＋ストレートパイプ	20
・ ゴミの捨て方	21
・ 別販売品の使い方（高機能フィルタ）	26
・ 高機能フィルタ	26
・ 保守・点検について	30
・ 保管方法について	30
・ お手入れは	31
・ スポンジフィルタのお手入れ	32
・ 修理について	33
・ 修理をお申し付けされる前に	33
・ バッテリについて	34
・ バッテリを長持ちさせるには	34
・ バッテリのリサイクルについて	35
・ バッテリの交換方法	35
・ 充電式クリーナ 保証書	40

主要機能

主要機能 \ モデル	CL110D	
電動機	直流マグネットモータ	
バッテリー	リチウムイオンバッテリー	
	電圧	直流 10.8 V
	耐用充電回数	約 500 回 * ¹
連続使用時間	約 10 分 * ¹	
集じん容量	560 mL	
本機寸法	長さ 412 mm × 幅 102 mm × 高さ 109 mm (ノズル取り付け時の長さ 906 mm)	
質量	0.93 kg (本機のみ)	

充電器	DC1001	
入力電圧	単相交流 100 V	
入力周波数	50-60 Hz	
入力容量	8.5 VA	
出力電圧	13.7 V	
出力電流	0.505 A	
充電時間	約 3 時間 * ¹	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

*¹：使用状況によって変動します。

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- ・ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



このような絵表示は、
してはいけない「禁止」
内容です。



このような絵表示は、
必ず実行していただく
「強制」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

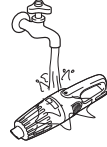
なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

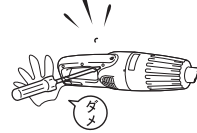
：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

- 水洗いしない。また、風呂場など湿った場所やぬれた場所で使用しない。
 - 感電する場合があります。



- 絶対に分解したり修理・改造しない。
 - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



- 子供に本機や充電器で遊ばせない。
 - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。



- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、スイッチに指がかからないように注意する。



- ゴミ捨て
- フィルタ類の清掃（お手入れ）
- 保管
- その他危険が予想される作業

- 使用済みのバッテリーを交換する際は、スイッチが入らないように注意する。



- スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリーを装着すると、急に動きだし事故につながります。

- 本機の吸込口や排気口に手、髪または身に着けたものを入れない。
 - けがの原因になります。



⚠ 警告

- ・ 屋外で使わない。



- ・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



- ・ 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となる。



引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの

- ・ ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針、クリップなど

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）

中毒症状を起こす物質

薬品類

液体や湿ったゴミ

動物などの排泄物、吐しゃ物

多量の砂や土砂

⚠ 警告

- ・ 使用中、本機の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。



- ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。点検・修理をお願いします。

- ・ マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。



- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- ・ 作業場の周囲状況も考慮する。



- ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- ・ 無理な姿勢で作業をしない。



- ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

- ・ 火気や暖房器具などに近づけない。



- ・ 本機の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- ・ 引火性のもの（ガソリン、ペンジン、シンナー、ガスなど）の近くで充電したり、使用しない。



- ・ 爆発や火災の原因になります。

⚠ 警告

・ 損傷した部品がないか点検する。



- ・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

・ 充電式クリーナは、注意深く手入れをする。



- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

・ 温度が 50℃ を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しない。



- ・ 本機の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
- ・ 内蔵のバッテリーが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

・ 使用しない場合は、乾燥した、子供の手の届かない安全な所、または鍵がかかる所に保管する。



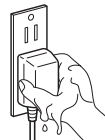
- ・ 事故の恐れがあります。

・ 雨中や湿った場所で充電したり、ぬれた手で電源コンセントや電源プラグ、給電プラグを抜き差ししない。

・ 充電器の電源プラグや給電プラグに金属片・水などの異物を近づけない。



- ・ 感電やけがをすることがあります。



⚠ 警告

- 交流 100 V で充電する。



- 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機で充電しないでください。火災の原因になります。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグと給電プラグを抜いて充電を中止する。



- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 専用の充電器以外は使用しない。



- バッテリーの液もれ、発熱、破裂の原因になります。
- 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

- 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリーや充電器をマキタが指定した機器以外に使用しない。



- 充電器が電源コンセントに差し込まれたまま、充電器の給電プラグを本機から取りはずして放置しない。



- 通電したままの充電器の給電プラグを子供などが口にくわえたりすると感電の原因となります。

- 充電器のコードを乱暴に扱わない。



- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⚠ 警告

- ・ 充電器のコードが傷んだり、電源プラグの差し込みがゆるいときは使用しない。



- ・ 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- ・ 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。



- ・ 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- ・ 本機から取りはずしたバッテリーは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしない。



- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- ・ 雨や水にぬらさないでください。
- ・ 分解、改造はしないでください。
- ・ 火中に投入しないでください。

- ・ 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れない。



- ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

- ・ マキタ指定以外のバッテリー、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しない。また、バッテリーをマキタが指定した製品以外で使用しない。



- ・ 本機の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- ・ バッテリーや充電器を充電中に布などで覆わない。



- ・ 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。

⚠ 警告

- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しない。

- ・ 発熱や破裂、発火の原因になります。



- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しない。

- ・ 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。



- ・ 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。

- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。



⚠ 注意

- ・ 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。

- ・ 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。



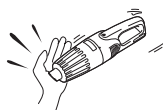
- ・ フィルタを正しく取り付ける。

- ・ フィルタを確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタを取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。



- ・ 吸引口をふさいで長時間運転しない。

- ・ 過熱による本機の変形、発火の原因になります。



- ・ 排気口をふさがない。

- ・ 火災の原因になります。



- ・ 高所で使用するときは、本機を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本機のハンドルを持って運ぶ。

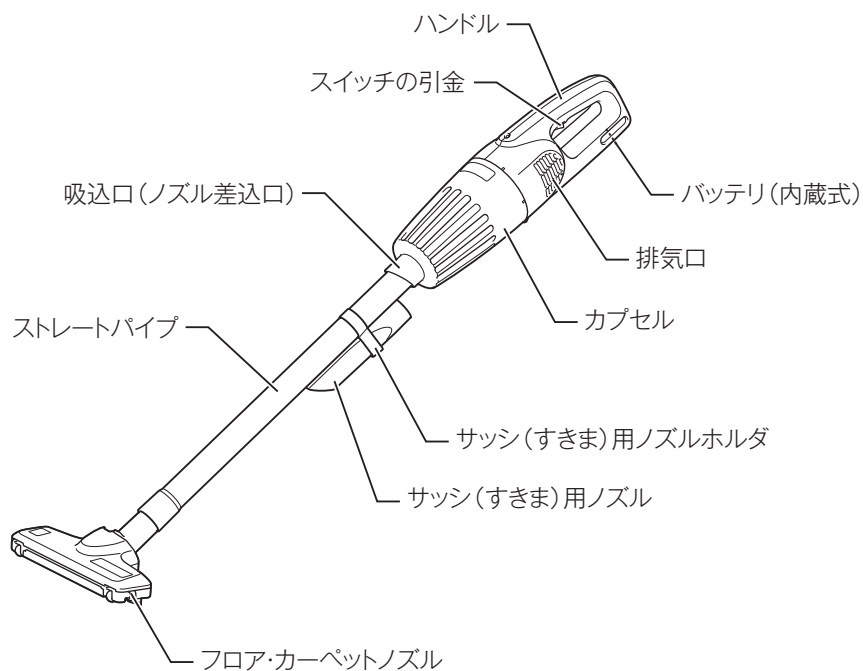
- ・ 本機などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。



- ・ バッテリーは交換時以外では触らない。



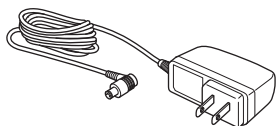
各部の名称



標準付属品

はじめに、同梱品を確認してください。

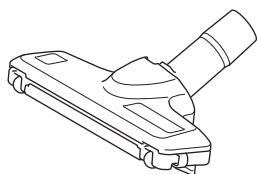
- ・ 充電器 DC1001



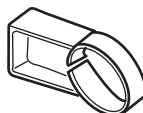
- ・ サッシ（すきま）用ノズル
部品番号：413769-1（アイボリー）
部品番号：413860-5（レッド）



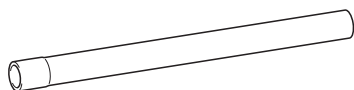
- ・ フロア・カーペットノズル
部品番号：A-59922（アイボリー）
部品番号：A-59938（レッド）



- ・ サッシ（すきま）用ノズルホルダ
部品番号：416043-6（アイボリー）
部品番号：416227-6（レッド）



- ・ ストレートパイプ
部品番号：451424-7（アイボリー）
部品番号：451425-5（レッド）



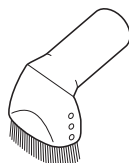
別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

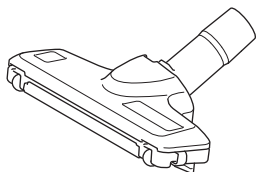
- ・ フレキシブルホース
(自由に曲がるため、車などの狭い場所の掃除に便利です。)
部品番号：A-37568 (アイボリー)
部品番号：A-52526 (レッド)



- ・ ラウンドブラシ
部品番号：A-37471 (アイボリー)
部品番号：A-52532 (レッド)



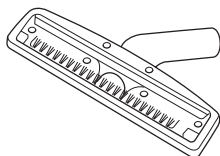
- ・ フロア・カーペットノズル
部品番号：A-59922 (アイボリー)
部品番号：A-59938 (レッド)



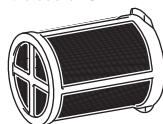
- ・ 高機能フィルタ
(細かな粉じんを捕集)
部品番号：A-58207



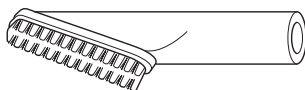
- ・ じゅうたん用ノズル
部品番号：A-37546 (アイボリー)
部品番号：A-52504 (レッド)



- ・ プレフィルタ
部品番号：A-50463



- ・ 棚用ブラシ
部品番号：A-37552 (アイボリー)
部品番号：A-52510 (レッド)



- ・ フィルタ (1枚入)
部品番号：A-43963
- ・ フィルタ (10枚入)
部品番号：A-50728

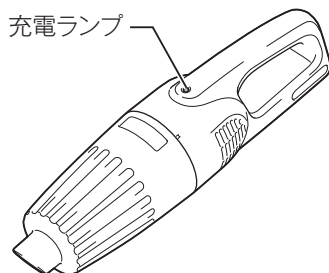
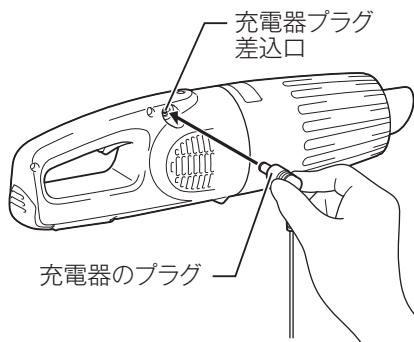


- ・ リチウムイオンバッテリー
部品番号：196885-1

使い方

充電の方法

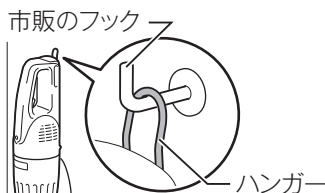
- ・初めてご使用になる前に、必ず充電を行ってください。
- ・充電器プラグ差込口に充電器のプラグを接続した後、充電器を電源コンセントに差し込めば、充電がはじまります。本機スイッチ前側の充電ランプが赤色に点灯します。
- ・充電が完了すると充電ランプが消えます。充電時間は約3時間です。



⚠ 注意

本機を立て掛けた状態で充電する場合は、ハンガーを市販のフックなどに引っ掛けてから充電してください。または、本機をねかせた状態で充電してください。

- ・市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。



- ◎バッテリーには寿命があります。充電しても数十分で充電ランプが消えてしまう場合および充電しても使用時間が半分以下になった場合は、バッテリーの寿命（不良、故障）と考えられます。このようなときは充電器を電源コンセントから抜き、バッテリーを交換してください。
- ◎バッテリーの耐用充電回数は約 500 回です。使用状況によって、この耐用充電回数は変動します。

注

- ・充電状態のまま使用しないでください。故障の原因になります。
- ・充電完了後は本機から充電器のプラグを、電源コンセントから充電器をはずしてください。
- ・バッテリー温度が 0℃未満の場合、充電開始しない場合があります。
- ・故障を防ぎ、バッテリーを長持ちさせるために、使用後は必ずスイッチを切ってください。

使い方

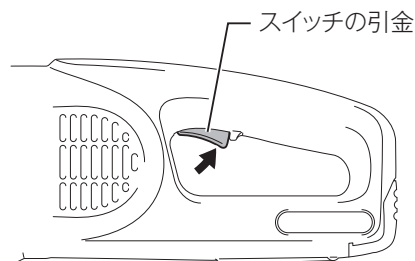
スイッチの操作

⚠ 警告

スイッチの引金を引き、放したとき引金に戻ることを必ず確認してください。

- ・ スwitchの引金が正しく作動しないと、事故の恐れがあります。

- ・ スwitchは、スswitchの引金を引くと入り、放すと切れます。



注

- ・ ご使用前に必ずフィルタ、プレフィルタが正しく取り付けられていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障、および発火の原因になります。

バッテリー切れお知らせランプ

- ・ 使用中にバッテリーの容量が少なくなるとバッテリー切れお知らせランプが赤色に点滅します。
- ・ さらに、バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止し、バッテリー切れお知らせランプが約10秒点灯します。このときは充電器のプラグを充電器プラグ差込口に接続して充電してください。(16ページ「充電の方法」を参照)



注

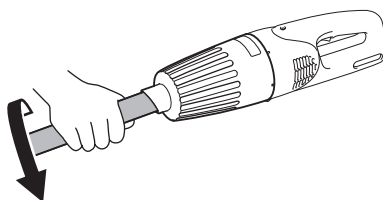
- ・ バッテリー切れお知らせランプの点灯、点滅のタイミングは、周囲の温度やバッテリーの状態によって変化します。

⚠ 注意

ノズルなどの標準付属品は使用中に抜けないように、矢印方向にねじりながらしっかりと差し込んで取り付けてください。

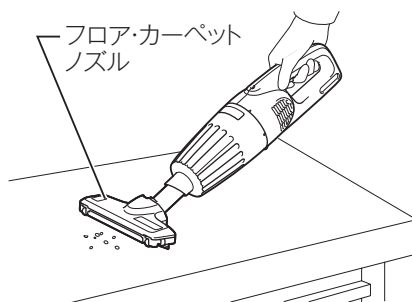
取りはずす場合も矢印方向にねじりながら取りはずしてください。

反対方向へ回して取り付け・取りはずしをしますとカプセルがゆるむことがありますのでご注意ください。



フロア・カーペットノズル

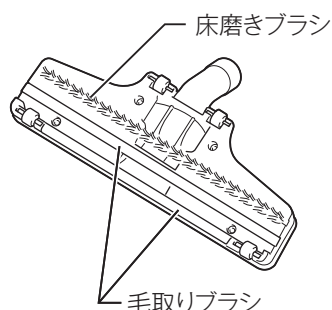
- ・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、フロア・カーペットノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。



※フロア・カーペットノズルを床面に押し付けすぎず、軽く滑らせるように使用してください。

毛取りブラシ：ノズルを前後させる動きによって、カーペット上のゴミをからめとります。

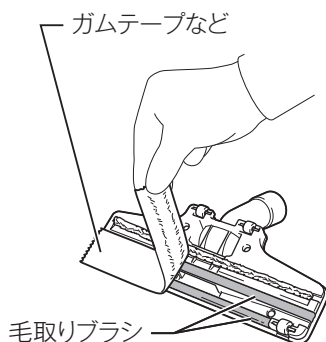
床磨きブラシ：フローリングなどの床を磨く効果があります。



使い方

フロア・カーペットノズルのお手入れ

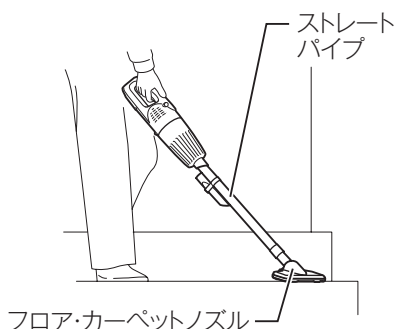
- ・フロア・カーペットノズルの毛取りブラシにゴミがたまり、カーペット上のゴミが取れにくくなったときは、ガムテープなどで毛取りブラシに付いたゴミを取り除いてください。



フロア・カーペットノズル＋ストレートパイプ

- ・たたみ、カーペット、床など低い所を掃除されるときは、本機とフロア・カーペットノズルの間にストレートパイプを差し込めば、立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

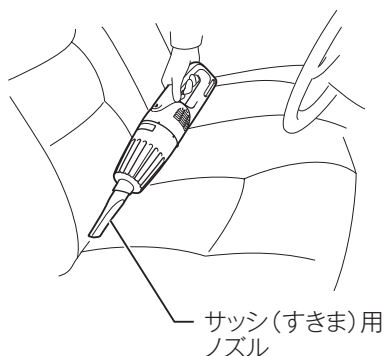
※フロア・カーペットノズルを床面に押し付けすぎず、軽く滑らせるように使用してください。



使い方

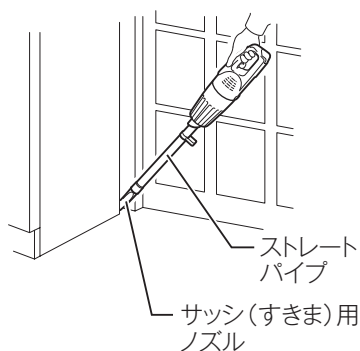
サッシ（すきま）用ノズル

- ・ 自動車の中や家具のすきま、およびサッシの溝などを掃除されるときは、サッシ（すきま）用ノズルを本機に直接差し込んで、ご使用ください。



サッシ（すきま）用ノズル＋ストレートパイプ

- ・ 家具の奥など本機が当たって入らないときや高い所のすきまなどを掃除されるときは、サッシ（すきま）用ノズルと本機の間にはストレートパイプを差し込んで、ご使用ください。



使い方

⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を清掃、交換する際は、本機のスイッチを入れないように注意してください。

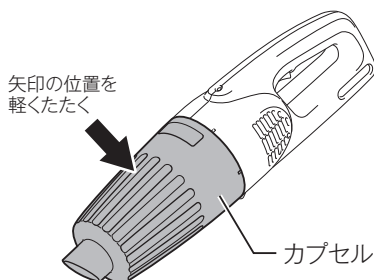
- ・ 不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。

- ・ けがや故障の原因になります。

ゴミの捨て方

1. フィルタに付着したゴミを落とすために、カプセルを手で4～5回軽くたきます。



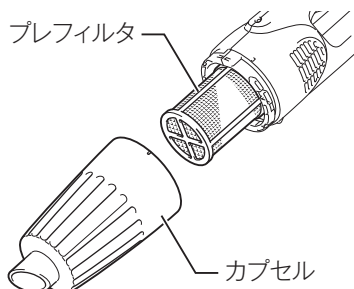
2. 吸込口を下に向けてカプセルを回し、ゆっくりまっすぐカプセルを取りはずします。



注

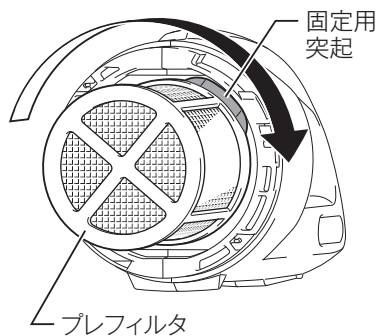
- ・ カプセルを開ける際にゴミがこぼれる場合がありますので、ゴミ箱を下に置いて行ってください。

3. カプセル内のゴミを捨てます。

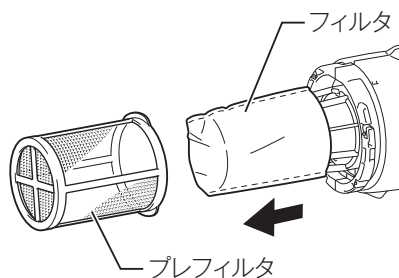


使い方

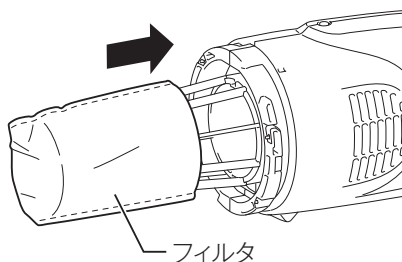
4. プレフィルタを回して、本機から固定用突起をはずしてから引き抜きます。



5. プレフィルタ中の細かいゴミを捨て、次に軽くたたくようにしてフィルタに付着したゴミを落とします。



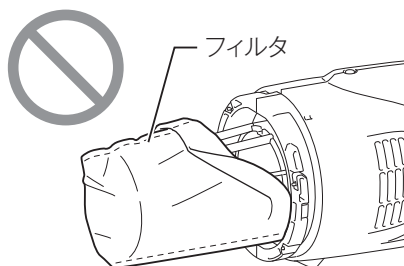
6. ゴミを落とした後、フィルタを本機の奥までしっかりかぶせます。



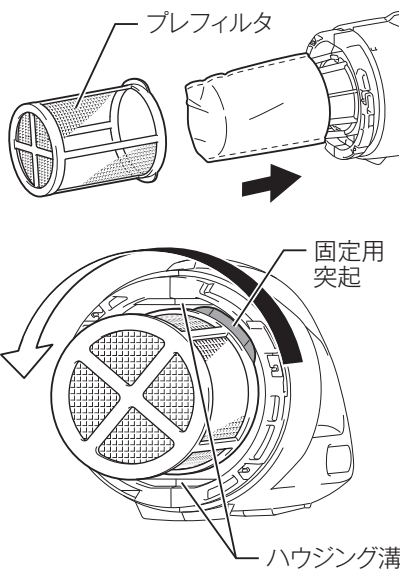
使い方

注

- フィルタは図のようにめくれないようにかぶせてください。正しくかぶせていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。

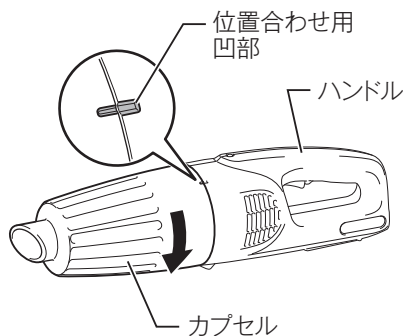


7. プレフィルタを取り付けます。
プレフィルタを回して固定用突起を
本機側のハウジング溝にしっかりは
めめます。



使い方

8. カプセルを取り付けます。
カプセルの凹部とハンドル側の位置
合わせ用凹部を合わせてから止まる
までしっかり回します。

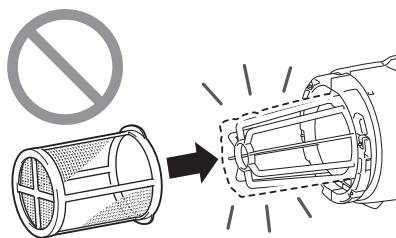


注

- ・ ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- ・ ご使用前に必ずフィルタ、プレフィルタが正しく取り付けられていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障、および発火の原因になります。
 - ・ 次の例に該当する場合はフィルタ、プレフィルタが正しく入っていません。再度正しく組み立てなおしてください。

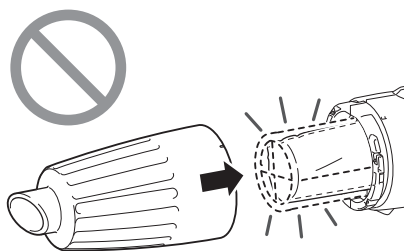
[悪い例]

- ・ フィルタを入れずにプレフィルタのみが入っている場合

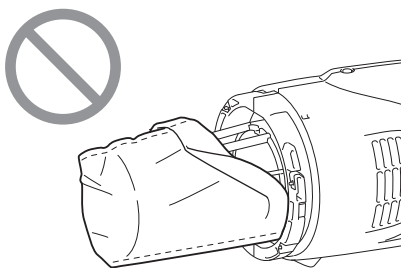


使い方

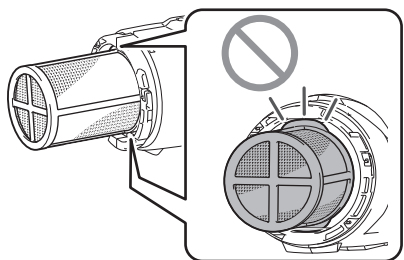
- ・ プレフィルタを入れずにフィルタのみが入っている場合



- ・ フィルタがめくれた状態で入っている場合



- ・ プレフィルタの固定用突起がハウジング溝にしっかり入っていない



別販売品の使い方（高機能フィルタ）

⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を清掃、交換する際は、本機のスイッチを入れないように注意してください。

- ・ 不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをファンに近づけないでください。

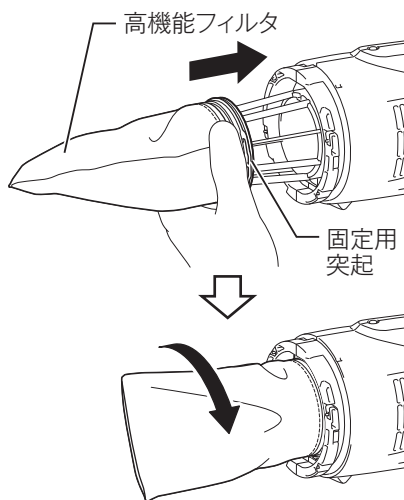
- ・ けがや故障の原因になります。

高機能フィルタ

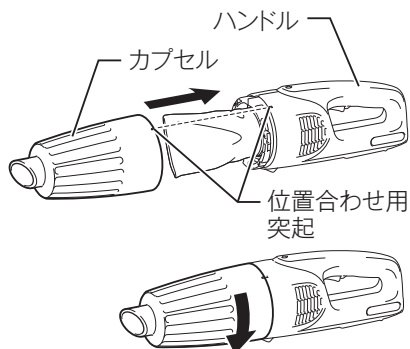
- ・ 高機能フィルタは標準付属のフィルタに比べ、細かな粉じんを捕集することができます。

組み立て方

1. 高機能フィルタを取り付けます。このとき、高機能フィルタを回して固定用突起を本機にしっかりはめます。



2. カプセルを取り付けます。カプセルの突起とハンドル側の位置合わせ用突起を合わせてから奥までしっかり回します。

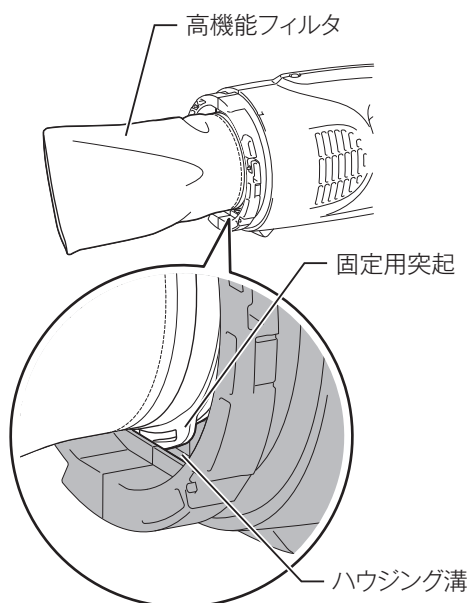


別販売品の使い方（高性能フィルタ）

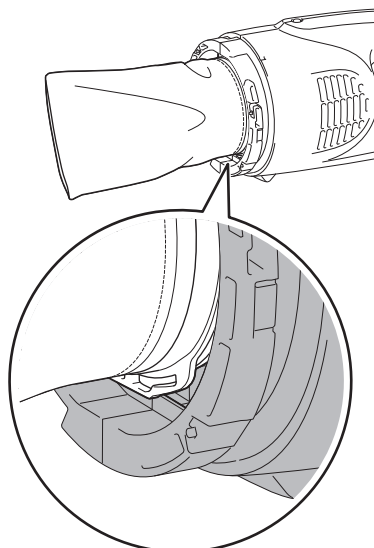
注

- ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- ご使用前に必ず高性能フィルタが正しく入っていることを確かめてからご使用ください。正しく入っていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。
 - ・ 次の例に該当する場合は、高性能フィルタが正しく入っていません。再度正しく組み立てなおしてください。

[悪い例]



※突起のはまり方が不完全。

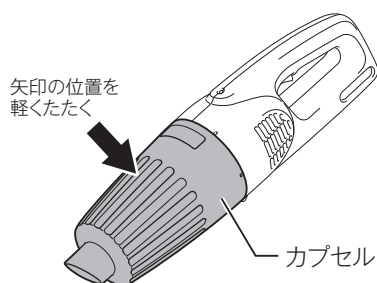


※突起が溝からはずれている。

別販売品の使い方（高性能フィルタ）

ゴミの捨て方

1. カプセルを手で軽く 4 ～ 5 回たたき、フィルタに付着したゴミを落とします。



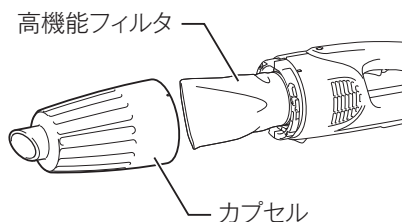
2. 吸込口を下に向けてカプセルを回し、ゆっくりまっすぐカプセルを取りはずします。



注

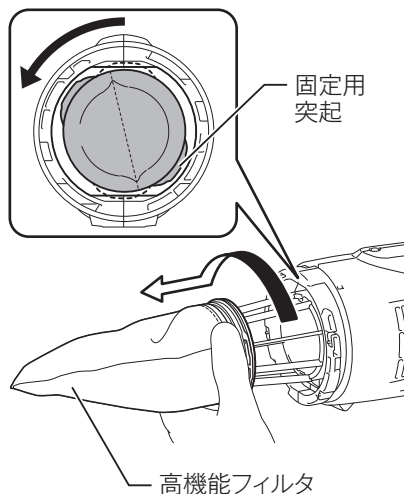
- ・ カプセルを開ける際にゴミがこぼれる場合がありますので、ゴミ箱を下に置いて行ってください。

3. カプセル内のゴミを捨てます。



別販売品の使い方（高性能フィルタ）

4. 高性能フィルタを回して、本機から固定用突起をはずしてから手前に引き抜きます。

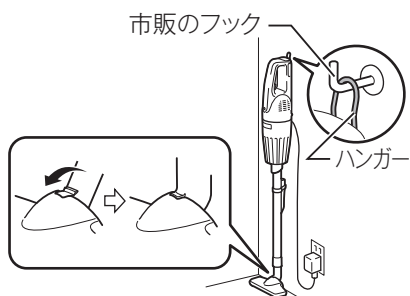


5. 高性能フィルタから中の細かいゴミを捨て、軽くたたくようにしてフィルタに付着したゴミを落とします。

保守・点検について

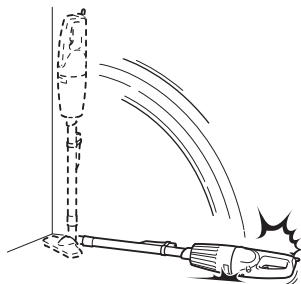
保管方法について

- ・ 充電するときや保管するときは、ノズルの凹凸をはめ合わせ、本機裏側のハンガーをおこし、市販のフックなどに引っ掛けてください。



注

- ・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。



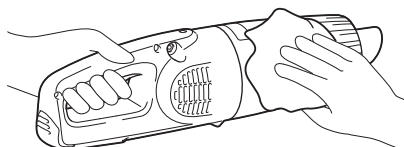
⚠ 警告

フィルタ類を清掃、交換する際は、本機のスイッチを入れないように注意してください。

- ・ 不意にスイッチが入るとファンが回りだし、けがや故障の原因になります。
- 指や棒などをファンに近づけないでください。
- ・ けがや故障の原因になります。

お手入れは

- ・ 本機の汚れは、薄めた中性洗剤を布に少量しみ込ませてふきとってください。
- ・ 吸込口に付いたゴミもふきとってください。



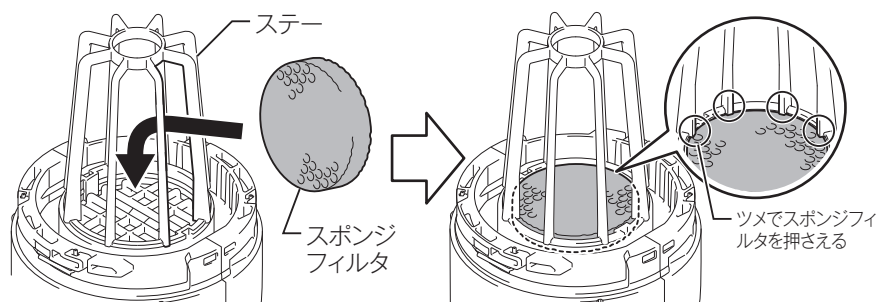
注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。変色、変形、ひび割れの原因となります。
- ・ フィルタは、ときどき中性洗剤でもみ洗いをし、よく乾燥させてからご使用ください。乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。
- ・ エアブロウなどで掃除しますと、排気口より粉じんなどが内部に入り込んでしまい故障の原因となりますので、エアブロウでの掃除は避けてください。

保守・点検について

スポンジフィルタのお手入れ

- スポンジフィルタの汚れは、本機からスポンジフィルタを抜き取り、はたくか水洗いしてください。



スポンジフィルタの取りはずし方

- スポンジフィルタは、次の手順で取りはずしてください。
1. 本機からフィルタを取りはずします。(21 ページ「ゴミの捨て方」参照)
 2. 本機のステーに取りつけてあるスポンジフィルタをステーのすきまからつまんで抜き出します。
 3. スポンジフィルタのお手入れを行います。

スポンジフィルタの取り付け方

1. 本機のステーのすきまからスポンジフィルタを差し込みます。
2. ステーの奥に収まるようにスポンジフィルタの全周を指で押し込みます。

注

- スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本機にスポンジフィルタを装着した後、フィルタを確実に取り付けてください。
 - スポンジフィルタおよびフィルタを取り付けずに使用すると故障の原因になります。
- スポンジフィルタを水洗いした際は、よく乾燥させてからご使用ください。乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因になります。
- エアブロウなどで掃除しますと、粉じんなどが内部に入り込んでしまい故障の原因となりますので、エアブロウでの掃除は避けてください。

修理について

修理をお申し付けされる前に

症状	調べる所	直し方
吸込力が弱い。	・ カプセル内のゴミがいっぱいになっていませんか。 ・ フィルタが目詰まりしていませんか。 ・ バッテリーが消耗していませんか。	・ ゴミを捨ててください。 ・ フィルタをはたくか、水洗いしてください。 ・ 充電してください。
動かない。	・ バッテリーが消耗していませんか。	・ 充電してください。
充電できない。	・ 本機の充電ランプが点灯しない。 ・ 充電器のコードが傷ついていませんか。 ・ 本機の充電ランプが点滅し続ける。	・ 充電器のプラグを本機にしっかり差し込んでください。 ・ 充電器を電源コンセントにしっかり差し込んでください。 ・ 新しい充電器に取り替えてください。 ・ バッテリーが熱くないか、または冷えすぎていないか、バッテリーのコネクタがきちんと接続されているか確認してください。 それでも直らない場合は修理をお申し付けください。

注

- ・ 上表に従ってお調べいただいても直らないときは、バッテリーが寿命の可能性あります。その場合さらに充電されますと充電器も故障する場合がありますので、バッテリーを交換してください。
- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けされる場合は、クリーナ本機のほかに充電器も一緒にお持ちください。
- ・ 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
- ・ 保証期間が過ぎているときは、お買い上げ販売店、または当社営業所にご相談ください。
- ・ お使いの充電式クリーナは、バッテリーを内蔵しております。充電式クリーナを廃棄処分するときは、必ず内蔵のバッテリーを取りはずしてください。

バッテリーについて

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 吸い込みが弱くなってきたと感じたら使うのをやめて充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は気温10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、バッテリーを充電してから保管することをおすすめします。

注

- ・ 使用直後や直射日光のあたる所に長時間放置した本機に、充電器のプラグを接続し充電されると、充電ランプが赤色の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、本機の温度が下がると充電を開始します。

バッテリーのリサイクルについて

- ・ 使用済みのバッテリーは、リサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



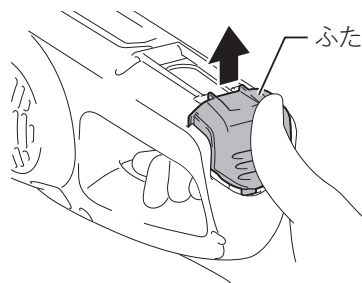
リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリーの交換方法

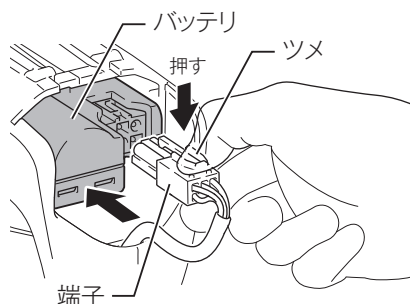
バッテリーの取りはずし方

(電源が OFF の状態で作業してください。)

1. 本機後部のふたをはずします。



2. バッテリーを途中まで引き出します。
3. 端子の「ツメ」を押しながら、バッテリーを奥に押し込むようにして端子をはずします。

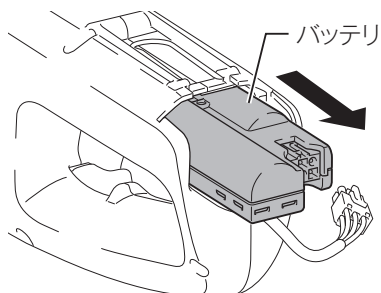


注

- ・ 無理に端子を引っ張るとリード線が切れる恐れがあります。

バッテリーのリサイクルについて

4. バッテリーを引いて取り出します。



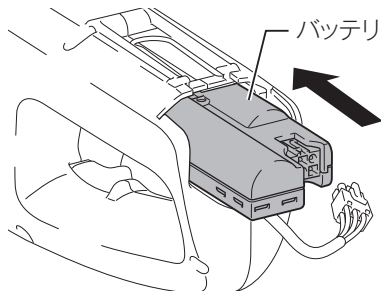
注

- ・ 取りはずしたバッテリーは短絡（ショート）しないように、端子部にはビニールテープなどを巻いてください。

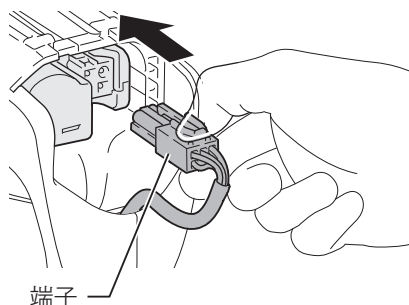
新しいバッテリーの取り付け方
(充電器をはずした状態で作業してください。)

取りはずしと逆の手順で取り付けてください。

1. バッテリーを本機に差し込みます。

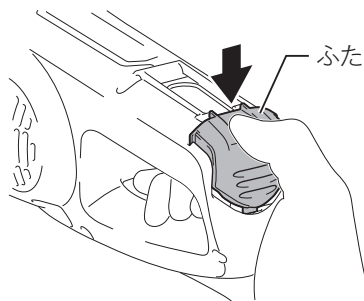
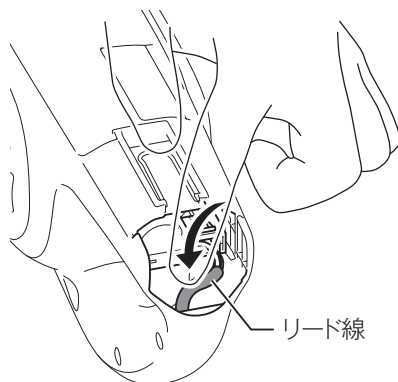


2. 端子を奥までしっかりとはめます。



バッテリーのリサイクルについて

3. リード線を図のように収めて、ふたを閉めます。



注

- ・ バッテリーの交換後は、バッテリーを充電してからご使用ください。

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)

881B10F6

IWT